

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【公表番号】特表2011-518566(P2011-518566A)

【公表日】平成23年6月30日 (2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2011-506500(P2011-506500)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 0 1 K 67/027 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/00 1 0 2

A 0 1 K 67/027

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月28日 (2012.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抗癌活性についての化合物のスクリーニングにおいて使用するためのノックアウトマウスであって、該マウスは、A b i 相互作用物質 1 (A b i - 1) 遺伝子のエキソン 1 において前立腺特異的破壊を含有し、該破壊により、該マウスは該前立腺組織において検出可能なレベルの A b i - 1 タンパク質を産生することができず、かつ、該マウスは前立腺上皮内新生物を発症する、ノックアウトマウス。

【請求項 2】

前記 A b i - 1 遺伝子は、C r e リコンビナーゼを発現する前記マウスの前立腺組織においてのみ破壊される、請求項 1 に記載のノックアウトマウス。

【請求項 3】

前記破壊された A b i - 1 遺伝子は、組換え A b i - 1 対立遺伝子、選択マーカー、該選択マーカーに隣接する f r t 部位、および該対立遺伝子の一部に隣接する l o x P 部位を含む、請求項 1 に記載のノックアウトマウス。

【請求項 4】

前記 A b i - 1 遺伝子は、前記マウスの組織の一部のみにおいて発現されない、請求項 1 に記載のノックアウトマウス。

【請求項 5】

前記マウスにおける前立腺細胞は、細胞運動性の破壊、方向持続性の増加、遊走距離の減少、および遊走速度の減少からなる群より選択される、少なくとも 1 つの変化を示す、請求項 1 に記載のノックアウトマウス。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のマウスから単離された細胞。

【請求項 7】

前記マウスの前立腺組織由来の細胞である、請求項 6 に記載の細胞。

【請求項 8】

マウス A b i - 1 遺伝子ノックアウト構築物であって、

a) マウス A b i - 1 遺伝子の一部であって、該 A b i - 1 遺伝子のエキソン 1 に、3 ' l o x P 部位および 5 ' l o x P 部位が隣接している、A b i - 1 遺伝子の一部；

b) エキソン 1 と、該 3 ' l o x P 部位との間の選択マーカー；

c) 該選択マーカーの 5 ' 側および 3 ' 側の f r t 部位；および

d) 該 5 ' f r t 部位の 3 ' 側のさらなる l o x P 部位

を含み、該構築物は、配列番号 1 4 を含む、構築物。

【請求項 9】

A b i - 1 遺伝子における前立腺標的化破壊を有するノックアウトマウスの製造方法であって、

請求項 8 に記載のノックアウト遺伝子構築物を、マウス胚幹（E S）細胞の集団にトランスフェクトする工程；

選択マーカーを発現するトランスフェクトした E S 細胞を選択する工程；

該トランスフェクトした E S 細胞を、該マウスの祖先の胚に導入する工程；

該胚を、生殖系列にコンディショナルノックアウト構築物を有するキメラマウスを産生する期間、発生させる工程；

該キメラマウスを繁殖させて、条件的に破壊可能な A b i - 1 遺伝子を有するヘテロ接合性マウスを産生する工程；および

該ヘテロ接合性マウスを、前立腺組織においてのみフリッパーゼまたは C r e リコンビナーゼを発現するマウスと繁殖させて、該 A b i - 1 遺伝子に前立腺特異的破壊を有するマウスを産生する工程

を包含し、該前立腺組織は該選択マーカーを含まず、該マウスは、前立腺上皮内新生物を発症する、方法。